

令和3年（2021年）6月21日

第3期  
一般社団法人渋谷未来デザイン  
事業報告書

自 令和2年（2020年）4月 1日  
至 令和3年（2021年）3月31日

# 目次

1 現況に関する事項.....	2
2 事業活動に関する事項.....	3
(1) 事業の概況.....	3
(2) 主な事業の状況と成果.....	4
① 創造文化都市事業.....	4
② スマートシティ事業.....	6
③ エリアマネジメント研究事業.....	7
④ アーバンスポーツ事業.....	7
⑤ パブリックスペース研究事業.....	8
⑥ ダイバーシティ&インクルージョン事業.....	9
⑦ You make Shibuya 事業.....	11
⑧ 都市間連携事業.....	12
⑨ 情報発信事業.....	12
⑩ スタートアップ支援.....	12
⑪ 事業開拓・研究（新規案件/コロナ対応）.....	13
3 パートナー企業に関する事項.....	14
4 会員に関する事項.....	14
5 役員に関する事項.....	15
6 Future Designer に関する事項.....	15
7 会議に関する事項.....	16

## 1 現況に関する事項

一般社団法人渋谷未来デザイン（以下「FDS」という。）は、渋谷に住む人、働く人、学ぶ人、訪れる人など、渋谷に集う多様な人々のアイデアや才能を、領域を越えて収集し、オープンイノベーションにより社会的課題の解決策と可能性をデザインする組織として平成30年度（2018年度）に設立されました。

未来の「都市」の可能性と、渋谷を愛する人々が実現したい「夢」を叶えるため、その活動は、渋谷で多様な取り組みを実証し、東京、日本そして世界へ展開することで、社会全体の持続的な発展へつなげていくことを目的として、現在まで活動を継続しています。

令和2年度（2020年度）は、上記の目的のため、SDGs、エシカル、MaaSなどグローバルな視点での都市の将来像を踏まえ、渋谷区基本構想で示す次の分野を切り口としたすべての人が主役となる都市をデザインする各事業の実施に取り組みました。

A：子育て・教育・生涯学習

B：福祉

C：健康・スポーツ

D：防災・安全・環境・エネルギー

E：空間とコミュニティのデザイン

F：文化・エンタテインメント

G：産業振興

しかしながら、第3期目となる令和2年度は、年初から世界的に猛威を振るい、現在も感染蔓延が継続している新型コロナウイルスによって、私たちの社会システムは大きな変革を余儀なくされ、新しい日常様式についても、様々な主体による検討・模索、新たな取り組みが進められるようになりました。

このような背景を踏まえて、都市間連携など、コロナ禍で制約を受けて縮小された分野もあったものの、国や都そして渋谷区とも連携しながら、休業中の区立小中学校の児童生徒に授業の動画配信を届けた「渋谷オンライン・スタディ」、スクランブル交差点をバーチャル空間で再現して、渋谷5Gエンターテインメント事業として各種イベントやハロウィン時の来街抑制などの情報発信を実現した「バーチャル渋谷」、オンラインとアーカイブを活用したコロナ禍における新しいイベントのカタチを実現した「Social Innovation Week Shibuya2020 (SIW)」、コロナ禍で大きな打撃を受けたエンタメ、ファッション、理美容、飲食などの各産業を支援する「YOU MAKE SHIBUYA クラウドファンディング」など、渋谷の街ならではの新しい価値の創造を意識しながら、今、できること、やるべきことについては、可能な限り積極的に取り組みました。

第3期は、3億1,146万円の経常収益（売上高）となり、コロナ禍の影響などもあり、計画予算額を下回る結果となりましたが、年間を通して収支バランスの改善を図った結果、最終決算収支については、前期である第2期の経常経費で約6,194万円、経常外経費で約245万円の合計約6,439万円よりは相当に改善したものの、最終的に経常経費で約1,278万円、経常外経費で約550万円の合計約1,828万円の損失となりました。

次年度は、新たな補助金の活用や協賛確保へのインセンティブ導入などによる多角的な収入確保、経常経費の継続的な見直し、年間を通しての収入、支出ごとの予算及び実績の財務管理の徹底、また、さらには管理（系）、コーポレート（系）、事業（系）の各部門に

よる役割分担と体制強化などにより、バランスのとれた収支決算を目指しながら、渋谷未来デザインが持続可能な組織となるための取組を進めるとともに、ニューノーマルにおける新たな課題に対しても積極的にチャレンジしてまいります。

## 2 事業活動に関する事項

### (1) 事業の概況

FDS が実施した第3期事業は、表1に示された11の主な事業領域に大別されます。

表1 FDSの事業体系

事業分野	プロジェクト名
創造文化都市事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 創造文化都市渋谷の実現にむけた計画策定</li> <li>● 渋谷5Gエンタテインメント事業</li> </ul>
スマートシティ事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● データアナリティクス研究</li> <li>● 渋谷区環境基本計画啓発事業</li> </ul>
エリアマネジメント研究事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ササハタハツのエリアマネジメント</li> <li>● 神南一丁目エリアのエリアマネジメント研究</li> </ul>
アーバンスポーツ事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ストリートスポーツ“NEXT GENERATIONS”</li> <li>● 渋谷フューチャースポーツ</li> </ul>
パブリックスペース研究事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCRAMBLE STADIUM SHIBUYA</li> <li>● 公共空間利活用研究</li> <li>● パブリックアート研究</li> <li>● 都市公園等の価値向上推進事業</li> </ul>
ダイバーシティ&インクルージョン事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Social Innovation Week Shibuya</li> <li>● 大学・学生連携</li> <li>● 法人会員制度</li> <li>● 次世代子育て研究</li> </ul>
YOU MAKE SHIBUYA 事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SHIBUKURO/LINE</li> <li>● 渋谷体験プロジェクト</li> </ul>
都市間連携事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 渋谷シティブランディング</li> <li>● 先進都市視察・研究</li> </ul>
情報発信事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● イベントプラットフォーム</li> <li>● 広告・イベント案件</li> </ul>
スタートアップ支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 渋谷区版スタートアップ・エコシステム</li> </ul>
事業開拓・研究（新規案件/コロナ対応）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 渋谷オンライン・スタディ</li> <li>● YOU MAKE SHIBUYA クラウドファンディング（ECサイトほか）</li> </ul>

## (2) 主な事業の状況と成果

### ① 創造文化都市事業

#### (i) 渋谷区が目指す創造文化都市渋谷が実現するための制度に向けて

創造文化都市は、「高度な国際競争力、強烈な地域性、誇りある暮らしを営む環境」が備わることで多様な規模の産業や人、尖った個性が持続的に集まり、文化や産業を生み育てる都市である。

渋谷未来デザインは、国の施策である「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を形成するため、渋谷区が「ウォークブル推進都市」に賛同し、創造文化都市渋谷を実現するための制度設計を提案し、大中小規模の建物に多機能が混在し、渋谷らしさを継続発展させるためのまちづくり活動推進事業も包含したインフラ整備プラットフォームを構築するとの考え方に基づいて、エリアごとの合意形成を推進しながら、地域と連携する仕組みが、渋谷区のまちづくり部門が関わるカタチで、今後制度運用される方向性が決まり、これまでの取り組みの大きな成果として結実しました。

#### (ii) 渋谷5Gエンターテイメント事業

来たる5G時代を見据え、都市の未来像とエンターテイメントの力を、テクノロジーを駆使しながらカタチにすることで、渋谷が常に最先端かつアクティブで、魅力的な街であり続けることを目的に、KDDI株式会社、一般財団法人渋谷区観光協会そしてFDSの三者でプロジェクトを立ち上げました。約70社のパートナー企業の持つアイデア、知識、リソースを掛け合わせ、リアルとバーチャルを組み合わせた渋谷らしい新たな体験価値を生み出すため、公共性や街への還元を担保しつつ、本格的な事業モデルに向けて取り組みを進めています。

コロナ禍による緊急事態宣言下の5月には、スクランブル交差点をバーチャル空間で再現した渋谷区公認配信プラットフォーム“バーチャル渋谷”を立ち上げ、アニメ“攻殻機動隊”とのコラボレーションイベントに約50,000人を集めました。その後も、10月のハロウィーンには、“バーチャル渋谷”を使った「ハロウィーンフェス」、12月には「バーチャルクリスマス」、1月には「バーチャル新年」、3月にはYOU MAKE SHIBUYAクラウドファンディングによる「バーチャルミュージックライブ」など、新たな文化の創出や情報発信を推進しました。

表 2 渋谷5G エンタテインメント事業

日程	内容
2020年5月	<p>渋谷区公認配信のプラットフォームとして、渋谷駅前のスクランブル交差点を仮想空間とした「バーチャル渋谷」が5/19からオープン。オープニングイベント「#渋谷攻殻 NIGHT by au 5G」（「攻殻機動隊 SAC_2045」、若槻千夏、SEKAI NO OWARI“DJ LOVE”、VTuber、宇川直宏）を開催。延べ約50,000人が参加。</p> <p>一般社団法人 VFX-JAPAN によるアワードにて、2021年度の先導視覚効果部門優秀賞として「バーチャル渋谷」が選出。</p>
2020年10月	<p>渋谷区公認配信プラットフォームである「バーチャル渋谷」において、新型コロナウイルス感染拡大防止、予防の観点で、今年のアロウィーンは、「バーチャルへ”「#StayVirtual」をキーワードに来街自粛を要請する「バーチャル渋谷 powered by au5G アロウィーンフェス」として、10/26～31にライブ配信、オンラインショップ、仮装コンテストなどを実施。</p> <p>アジア地域最大級の広告コミュニケーションフェスティバル「Spikes Asia 2021」の Brand Experience and Activation 部門にて、「バーチャル渋谷 powered by au5G アロウィーンフェス」がシルバー受賞。</p>
2020年12月	<p>「バーチャル渋谷」内において、「#StayTogether」をキーワードに「バーチャル渋谷 powered by au5G Xmas」を開催。トークショー（YOU&amp;若槻千夏ほか）、Netflix presents『今際の国のアリス』上映、NHK“チョコちゃんに叱られる”とのコラボで「みんなでバーチャル！NHKクリスマスショー」、「Very MerryXmas from FPM」、プレゼント企画などを実施。</p>
2021年1月	<p>「バーチャル渋谷」内において、「バーチャル渋谷からのお年玉」キャンペーンにより、年末年始も「#StayVirtual」、三密を避けて、「バーチャル鳥居」へのバーチャル初詣を楽しもうとのメッセージを発信。</p>
2021年3月～	<p>「バーチャル渋谷」内にバーチャルライブハウス「SHIBUYA UNDER SCRAMBLE powered by au5G」をオープン、バーチャル音楽ライブ「YOU MAKE SHIBUYA VIRTUAL MUSIC LIVE powered by au5G」において、総勢100組、20日間のラインナップで、日本の音楽シーンでこれからの活躍が期待されるネクストブレイクアーティストが登場。</p>

## ② スマートシティ事業

### (i) データアナリティクス事業

渋谷区及び東京大学先端科学技術研究センターと協力し、産官学民のデータを掛け合わせ、渋谷区の社会課題に対する新たな知見や解決策を提供する基盤として、データコンソーシアム構想を企画し、民間企業からのデータコンソーシアムへの参加者を募るための説明会、データに関する知見を深めるための勉強会、スマートシティの先進都市であるバルセロナ市を視察するなどの取組を進めて来ました。

令和2年(2020年)7月には、データコンソーシアムを立ち上げ、専門家とコンソーシアム会議を組成して、ICTベンダーやネットワーク事業者、サービス事業者などの会員企業とともに、プロジェクトを推進するとともに、渋谷区の行政サービスや社会サービスの開発と提供を目指しています。

表3 データアナリティクス事業の主な活動

日程	内容
2020年4月、5月、6月	データコンソーシアムに関する企業ヒアリング、プレ勉強会
2020年7月2日プレスリリース	データコンソーシアム発足(渋谷未来デザインが産官学民共同のデータプラットフォームを構築するコンソーシアムを設立)
2020年9月、11月、 2021年1月、3月	データコンソーシアム勉強会、SIW内Decidim勉強会、Meet Upイベント、shibuya good pass発表、SMILE発表
2020年8月、10月、12月、 2021年2月	プロジェクト推進(日陰マップ(Hikage Finder)、Data Collecting Bike、位置情報サービス、5Gエンターテインメントのデータ解析、CITYダッシュボードSMILE、市民協創(Decidim)、shibuya good pass、Mobility)

### (ii) 渋谷区環境基本計画啓発事業

令和2年度(2020年度)は、渋谷区環境政策課より環境啓発業務を受託し、区民、事業者を巻き込んだ、地球温暖化の現状や地域の課題を一緒に考える事業(環境ファシリテーター育成事業、地域環境インタビュー事業)を開催しました。

#### ・環境ファシリテーター育成事業

区民および在学・在勤者、7月から2月で5回程度の座学等を実施。区内環境活動および学生を対象とした、地球温暖化防止活動推進の担い手を育成。

#### ・地域環境インタビュー事業

区内小学校2校、9月から10月実施。事業者が実施している環境活動と仕事について児童がインタビューをリモートで実施、結果を壁新聞等にまとめ発表。

### ③ エリアマネジメント研究事業

民間である住民や事業者、商店街や町会など地域の多様な主体が、個別に活動を展開するだけでなく、各地域特性を考慮しながら、エリアとしての共有方針をもって、まちづくりや地域経営に取り組むことで、暮らしの質を向上させる官民連携の活力を導入したエリアマネジメントの研究と具体的な支援に取り組んで来ました。

#### (i) ササハタハツのエリアマネジメント

2020年7月に渋谷区、京王電鉄、渋谷未来デザインの三者が連携協力して、笹塚・幡ヶ谷・初台（ササハタハツ）エリアのまちづくり共創プラットフォーム「まちラボ」を立ち上げました。主体的に行動する市民や企業と共に、地域の価値を高める事業を共創するため、渋谷区が整備を進める旧玉川上水旧水路緑道の民間活用の手法について提言をしながら、市民共創（ササハピ）のプロジェクトを進め、さらにはビジョン策定に取り組むことで、地域のリソースを活用しながら、持続可能な自律経営を実現した官民連携のエリアマネジメントの実現を図ります。

#### (ii) 神南一丁目エリアのエリアマネジメント研究

神南一丁目エリアのエリアマネジメント研究については、地域団体とともに検討を継続しましたが、コロナ禍であることもあり、大きな進捗には至りませんでした。

### ④ アーバンスポーツ事業

渋谷区の基本構想に掲げられた健康・スポーツ分野の主旨を踏まえ、ストリートスポーツ振興及びマナー向上の啓発を実施する。また都市部におけるスポーツとして、バスケットボールやランニング、eスポーツまで含めた、渋谷に集う若年層が積極的に参加できるアーバンスポーツプロジェクト事業を推進しています。

#### (i) ストリートスポーツ“NEXT GENERATIONS”

令和2年度（2020年度）は、コロナ禍を受けて、オンラインダンスレッスン動画コンテンツ Dance@Home を配信するなど、動画投稿が可能な仕組みづくりを提供しました。

また、GAKU と連携した高校生向けの放課後スクールである Next Generation Academy では、スポーツイベントに関わっていくためにはどのように過ごしたらよいかをテーマにプロからの学び、イベントプロデュースなどの実践の場を設けるなどの取り組みを進めました。

さらに、Next Generation Games2020 においては、全国から数多くの参加者が集まり、中学生以下を対象としたコンペティションとワークショップ等イベントプロデュースの実践の場にもなりました。

今後は若年層である U15 に焦点を絞ったストリートスポーツコンペティションの実施を基軸に、体験イベントやスクール事業も見据えた包括的なプロジェクトを目指します。



(ii) 渋谷フューチャースポーツ

令和2年度(2020年度)は、都市部におけるスポーツとして、バスケットボールやランニング、eスポーツまで含めた、渋谷に集う若年層が積極的に参加できるアーバンスポーツを渋谷フューチャースポーツとして推進するための検討を進めました。

⑤ パブリックスペース研究事業

多様性(ダイバーシティ)と包摂(インクルージョン)をはぐくむ空間の実現を狙いとして公共空間ビジョンを策定し、道路や公園などの公共空間及び都市再開発により生み出される空間等を、コミュニティ強化や都市生活の活性化に向けてどのように利活用するか調査研究を行う。また、都市におけるスポーツ・エンタメの聖地及び防災拠点としてスタジアムを作る構想について民意を醸成する。さらに、公共空間における情報発信・屋外広告物の在り方やイベントを検討し、創造文化都市渋谷に相応しいパブリックアート研究を実施する。

(i) スクランブルスタジアム渋谷 SCRAMBLE STADIUM SHIBUYA

昨年度より引き続き、都市公園の新しいあり方を研究するため、渋谷に新しいスポーツ拠点の導入について、渋谷にかかわる多様な主体とともに検討を進めました。

(ii) 公共空間利活用研究

多様性(ダイバーシティ)と包摂(インクルージョン)をはぐくむ空間の実現を狙いとして策定した公共空間ビジョンを踏まえ、多様な公共空間の利活用に向けた取り組みを進めました。

令和2年度(2020年度)は、宮益坂に“ボラサイト”という簡易なボードを設置することにより、歩行空間に人がとどまるためのしかけを構想し、明治大学、地元の宮益坂の商店街や町会と連携し、SOCIAL INNOVATION WEEK2020(SIW2020)との連携企画として、実際に“ボラサイト”を設置することで、アンケートやインタビューで利用者からの意見を聴くなどの社会実験を行いました。今後も、社会実験を継続しながら、新たな公共空間の利活用の可能性を探っていきます。

(iii) パブリックアート研究

令和2年度(2020年度)は、渋谷区立宮下公園のリニューアルOPENと同時に、南街区に整備された遊歩道に、アダストリア、協和エクシオ、KDDI、シブヤテレビジョンが協賛したアートプロジェクトとして、アートウォールが誕生しました。金安亮&365 ブンノイチによる、渋谷の四季が描かれている11枚のアート作品を設置し、2018年~宮下公園の工事中、明治通り沿いの仮囲いに登場した200mのストリートアートに描かれ、SNSで話題となって多数のメディアや報道で取り上げられた「渋谷の街を楽しくお散歩する少女&犬」の人気コンビが再登場しました。

また、2021年竣工のビルに新たにパブリックアートを実装した HULIC & New UDAGAWA Art project が完成、数社の中から制作体制を決定、始動することができました。

#### (iv) 都市公園等の価値向上推進事業

令和2年度（2020年度）は、土木部公園課との協議を重ね、SOCIAL INNOVATION WEEK2020（SIW2020）の会場でもある区立宮下公園にて、多様なステークホルダーによる第1回“公園座談会”を実施し、地域の公園のあり方についてのディスカッションを行いました。さらに1回目の議論及び渋谷区でのLINEを活用した調査をもとに、2021年1月に2回目の“公園座談会”を行い、具体的なアイデアについて議論を行いました。次年度も引き続き、都市公園の新しいあり方を研究するため、渋谷にかかわる多様な主体とともに検討を継続します。

### ⑥ ダイバーシティ & インクルージョン事業

#### (i) SOCIAL INNOVATION WEEK 2020

国内最大級のソーシャルデザインをテーマにした東京・渋谷の都市フェスとして、“ウィズコロナ”対策（開催ガイドラインの策定、来場者と出演者、スタッフの検温を徹底、オンライン配信とオフライン観覧での並行開催、渋谷区公認「バーチャル渋谷」での生配信、実施後にトークセッションのアーカイブ映像を無料公開するスタイルの実現など）に取り組みながら開催しました。

2020年のテーマは『HOW』として、未来志向の企業家やクリエイターの価値観にふれ、多様な企業や新規事業コミュニティとネットワーキングし、これからの社会をリードするアイデアやソリューションを体感することを目的に、社会をつくるすべての人のココロとアタマを刺激した9日間（2020年11月7日～15日に実施）となりました。

SIW2020では、AWARD、CONFERENCE、NETWORKING、EXPERIENCEの4つの軸で16会場、122のプログラムを展開、事前コンテンツ（SIW PRODUCER'S TALKなど）の充実を図り、渋谷音楽祭、渋谷芸術祭、原宿表参道百年祭、TOKYO GIRLS COLLECTION、東京雪祭などの各イベントと連携し、区民のみならず渋谷に関わる多様な方々からたくさんの方が参加がありました。

来場者数：約5万人（オンライン視聴を含む。）

主催：SOCIAL INNOVATION WEEK SHIBUYA 実行委員会（FDSが事務局）

共催：渋谷区

会場：渋谷スクランブルスクエア スクランブルホール（QWS）、SUPER DOMMUNE、渋谷キャスト、渋谷ストリームホール、LaughOut 渋谷、GAKU、渋谷男女平等・ダイバーシティセンター<アイリス>、渋谷区立宮下公園、渋谷横丁、ヨシモト∞ホール、LINE CUBE SHIBUYA（渋谷公会堂）、宮益坂歩道部、代々木公園、薬

## マツモトキヨシ渋谷 Part2 店外壁、クリエイションスクエアしぶや、バーチャル渋谷

### (ii) 大学・学生連携

渋谷未来デザインの基本方針にもある、社会課題解決に向けたオープンイノベーションを加速させるため、大学・学生連携の推進を目指しましたが、令和2年度(2020年度)は、コロナ禍の影響で実質的に取り組みが困難な状況となりました。次年度に向けて、FDSと大学との更なる連携強化、協力関係の明確化を目的とした大学会員の設置に向けた検討を進めます。

### (iii) 法人会員制度

民間企業とのオープンイノベーションによる社会課題解決を目的として平成30年(2018年)8月に運営を開始しました。FDSの実施する各プロジェクトに参画いただき、実証実験の実施やイベント開催の協力等、様々な連携により社会課題の解決を促進しました。また、令和2年度(2020年度)はコロナ禍の影響でオンラインになりましたが、パートナー企業との懇親会を実施し、情報共有の場を設けたことで、会員同士あるいはFDSとの相互のネットワーキングを実現することができました。

上記取り組みを通じて、令和2年度(2020年度)は、年度末で特別正会員19社、正会員45社、賛助会員2社、計66社(昨年対比+32社)のご理解とご協力を得ることができました。

### (iv) 次世代子育て研究

令和3年(2021年)の8月に本格稼働を予定している「渋谷区子育てネウボラ」開設に向けて、令和2年度(2020年度)は、周知イベントの実施、渋谷区子育て公式チャンネル「しぶやネウボラ」の動画を作成、SOCIAL INNOVATION WEEKとの連携プログラムを実施し、WEBサイトのリニューアルに向けての準備などを行いました。

さらに、渋谷版ネウボラ事業の一環で、小学生～高校生(及び子育て家庭)をターゲットにしたSTEAM教育やアクティブラーニング領域の放課後プログラムの実証実験や事業としてのプロトタイピングを実施、クリエイティブ志向の世代教育のあり方や教育プログラムの開発を目指して行きます。

表4 次世代子育て研究主な活動

日程	内容
2020年8月	渋谷区子育て公式チャンネル「しぶやネウボラ」の動画作成。
2020年10月	SOCIAL INNOVATION WEEK との連携プログラム（「Weather Wizard Academy」(体験型ワークショップ)、(株)IMAGICA GROUP、(株)ウェザーマップ、(株)オー・エル・エム・デジタル、(株)ロボット)を実施。@渋谷キャスト
2020年12月	渋谷区子育て公式チャンネル「しぶやネウボラ」の動画作成第二弾。

#### ⑦You make Shibuya 事業

社会課題解決、シティブランド向上及び渋谷シティプライドを醸成する渋谷区公認のスーベニア事業を展開する。また、渋谷区基本構想“それぞれの成長を、一生よろこべる街へ”の趣旨を推進するため、教育・生涯学習分野における知識の提供や興味喚起を目的とし、民間企業等とのコラボレーションから新しい渋谷での“体験コンテンツ”を作る社会実験を進める。

##### (i) SHIBUKURO / LINE

令和元年(2019年)にスタートした「SHIBUKURO」プロジェクト及び平成30年(2018年)から展開しているLINEスタンプは、渋谷区ならではのモノ・コトをカタチにし、渋谷区公認スーベニアとして、渋谷の魅力やメッセージを世界に発信し、シティブランドを醸成すると同時に、うまれる収益の一部を地域に還元し、地域課題の解決に資するものである。

令和2年度(2020年度)は、4.28渋谷の日の一斉清掃に合わせて「CLEAN UP SHIBUYA」SHIBUKUROを作成、同日付でSHIBUKUROオンラインサイトをオープン。

5月には、学生クリエイターibuchangとLINEスタンプ(おうちシリーズ)を発売。6月には、atmosとのコラボ企画、オリジナルSHIBUKUROショッパーを開始、マスク、Tシャツ、シューズなどの多彩なラインナップコラボをスタート。

7月には、イラストレーター・アサリマユミとのコラボLINEスタンプ(疫病退散、アマビエ)を発売。同月、リニューアルオープンした宮下公園の商業スペースレイヤードミヤシタパーク内のCASIOショップにて限定SHIBUKUROを配布。

渋谷区の返礼品付きふるさと納税の返礼品第一弾としてSHIBUKUROが採用。渋谷区のパラリンピック応援を目的とする返礼品にも採用。FDSが渋谷区とともに取り組んだYOU MAKE SHIBUYAクラウドファンディングにおいても、返礼品としてエヴァンゲリオンで人気のクリエイターによるデザインのSHIBUKUROが採用。

9月には、アダストリアとのSHIBUKUROプロジェクト、12月にはKaepaとの障がい

者応援 SHIBUKURO 企画、YOU MAKE SHIBUYA クラウドファンディングの資金使途のひとつである EC サイト、SHIBUYA FAMILY SALE での SHIBUKURO 販売開始。

令和3年(2021年)1月には、渋谷区の新成人のための記念品として、新成人の描いたハチ公イラストの SHIBUKURO を配布。2月にはベティースミス恵比寿工房トノコロポにより、ジーンズでつくった SHIBUKURO を限定販売するなど多角的な展開を進めてきました。

#### (ii) 渋谷体験プロジェクト

令和2年度(2020年度)は、コロナ禍の影響もあり、SHIBUKURO / LINE 以外の事業には大きな進展が実現できなかったものの、渋谷区公認ライセンス「YOU MAKE SHIBUYA (仮)」ブランドへの拡張、より多くのコラボレーションの可能性は大きく、渋谷区ならではのモノ・コトをカタチにし、渋谷区公認スーベニアやお土産として、様々なプロジェクトや地域イベントや地域のメディアともコラボレーションしながら、渋谷の持つブランド力や発信力の最大化できる取り組みの事業化を模索する。

#### ⑧ 都市間連携事業

これまで、渋谷の発信力を活かし、渋谷をハブとした都市間連携のあり方を研究し、連携する他都市ブランドと渋谷ブランド価値が共に向上する事業を展開し、国内外に発信することを目指してきましたが、コロナ禍の移動制約など、令和2年度(2020年度)は実質的に進展はありませんでした。コロナ禍の終息時期を見据えて、引き続き国内外への発信、連携、交流の可能性と時期を探っていく状況と考えます。

#### ⑨ 情報発信事業

ホームページの充実、ニュースレターの発信など渋谷未来デザインのが有する多様なネットワークを活用した情報発信を推進してきましたが、引き続き、体制強化された新たな管理(系)部門、コーポレート(系)部門を中心に必要な情報発信を実現していきます。

#### ⑩ スタートアップ支援

渋谷区基本構想の産業振興分野の柱である「ビジネスの冒険に満ちた街へ。」の実現に向け、新たな産業分野にも目を向け、若手人材の育成のためのインキュベーションの拡充を図ることや、産官学の連携により、ビジネスマッチング等の場の整備を図ることを支援するため、渋谷の独自性を活かしたスタートアップ・エコシステム拠点形成に寄与する事業を展開する。

令和2年度(2020年度)は、SOCIAL INNOVATION WEEK 2020(SIW2020)の中で、渋谷区のスタートアップ企業の支援組織「Shibuya Start up Deck」が立ち上がりました。スタートアップが続々と生まれることで新たな人材や技術を呼び込み、街が持続的に発展する仕組みである“スタートアップ・エコシステム”を実現するために、渋谷区と共にFDSとしても継続して取り組みを進めます。

## ⑪ 事業開拓・研究（新規案件/コロナ対応）

### (i) 渋谷オンラインスタディ

コロナ感染拡大下の学校教育を支援するため、令和2年（2020年）4月、登校できなくなった渋谷区内の小中学校の児童生徒たちのために、先生方の生の授業を届ける取り組みを渋谷区及び渋谷区教育委員会事務局からの依頼により取り組みました。約2～3週間の間に、小学1年生から中学3年生まで、約5,000人の小学生、約1,500人の中学生に約140本の授業動画を無料で配信することができました。

時間との闘いでもあり、前例のない取り組みではありましたが、FDSのパートナー企業及び多くの関係者の協力により、学校現場からも、家庭からも、子どもたちからも大きな評価をいただくことができました。現在は学校教育現場における学校への登校は確保されていますが、今後とも教育部門への支援の取り組みを継続して模索していく予定です。

### (ii) YOU MAKE SHIBUYA クラウドファンディング

ウィズコロナ、アフターコロナの時代に、渋谷の街が“抗力”を高め、安全・安心なまちづくりと、かってない大きな打撃を受けている、これまで渋谷の文化を牽引してきた業界（エンタテインメント、ファッション、飲食、理美容など）の事業者が、文化・経済活動を取り戻せる環境を一日でも早く実現するため、こういった分野を支援する取り組みとして、渋谷未来デザインと渋谷区、渋谷区商店会連合会が実行委員会を組成して、広く資金的な支援を募るクラウドファンディングのしくみを使って、YOU MAKE SHIBUYA クラウドファンディングに取り組みました。クラウドファンディングで集まった支援金（目標金額4,289万円）に区の財源を加え、渋谷区内の事業者・店舗支援、エンタテインメント産業支援、ファッション産業支援に取り組みました。今後も、ウィズコロナ、アフターコロナの社会情勢を踏まえ、今求められる支援や取り組みについて、渋谷区と連携して取り組みを検討していきます。

#### 事業者・店舗支援

- ・『ビズスパ』“ビジネスをパワーアップするスパイス”オンラインプログラム配信
- ・感染症対策グッズを理容室・美容室に無償で配布
- ・障がい者支援のSHIBUYA FONTと連携したマスクケースを作成

#### エンタテインメント産業支援

- ・渋谷区公認バーチャル渋谷（仮想空間）にライブハウス「SHIBUYA UNDER SCRAMBLE」の構築
- ・YOU MAKE SHIBUYA VIRTUAL MUSIC LIVE（音楽配信）

#### ファッション支援

- ・ファッションショー（“SHIBUYA HARAJYUKU FASHION FESTIVAL”@宮下公園）
- ・渋谷区公認ECモール（サイト）「シブヤファミリーセール」
- ・Fashion Show of “Shibuya Family Sale”

ほか

### 3 パートナー企業に関する事項

FDS 設立に関わった参画パートナーと協力パートナーは全 22 社で表 5 のとおりでした。

表 5 パートナー企業一覧 (年度末現在)

参画パートナー(計 15 社)	協力パートナー(計 7 社)
渋谷区、株式会社アカツキ、株式会社 NTT ドコモ、京王電鉄株式会社、株式会社シブヤテレビジョン、ソニー株式会社、大日本印刷株式会社、株式会社デジタルガレージ、東急株式会社、東急不動産株式会社、株式会社日建設計、株式会社パルコ、株式会社バンダイナムコアーツ、株式会社みずほ銀行、レノボ・ジャパン合同会社	株式会社 AOI Pro.、株式会社エッジ・オブ、日本マイクロソフト株式会社、一般財団法人渋谷区観光協会、eiicon company、en one tokyo 株式会社、株式会社フルハウス

### 4 会員に関する事項

本年度新たに会員となった企業は表 6 のとおりでした。

表 6 新規会員企業一覧 (年度末現在)

特別正会員(計 7 社)	正会員(計 27 社)	賛助会員(計 0 社)
株式会社 ADK クリエイティブ・ワン、Supership 株式会社、スペースラボ株式会社、全国労働者共済生活協同組合連合会、デロイトトーマツコンサルティング合同会社、有限責任監査法人トーマツ、ポルシェジャパン株式会社	株式会社アダストリア、AMATELUS 株式会社、Anheuser-Busch InBev Japan 株式会社、WILLER 株式会社、株式会社エードット、株式会社 stu、株式会社 NHK エンタープライズ、株式会社 grasys、ジオメトリ・オグルヴィ・ジャパン合同会社、株式会社そごう・西武 西武渋谷店、チーターデジタル株式会社、株式会社テキストトレーディングカンパニー、株式会社日建設計総合研究所、株式会社日本総合研究所、株式会社ノット、パーソルホールディングス株式会社、株式会社ハイ・コンセプト、博報堂株式会社、パナソニック株式会社ライフソリューションズ社、ハロー株式会社、フォルダ株式会社、株式会社プレイブレン、株式会社フロンティアインターナショナル、合同会社ボックス、マースジャパンリミテッド、株式会社レコチョコ、株式会社ロボット	

FDS 及び渋谷区との事業共有と参画及び協力パートナー、特別正会員及び正会員間の交流を目的として、2020 年 3 月 24 日に渋谷区長を招いて懇親会を実施しました。

## 5 役員に関する事項

理事 6 名、監事 1 名の 7 名が役員総数です。役員の様況は表 7 のとおりです。

表 7 理事一覽 (年度末現在)

氏名	地位および担当	重要な兼職
小泉秀樹	代表理事	東京大学教授
佐藤 仁	理事	東京商工会議所渋谷支部会長
大西賢治	理事	渋谷区商店会連合会会長
浜田敬子	理事	Business Insider Japan 統括編集長
佐藤新子 (長田新子)	業務執行理事、事務局次長	
大澤一雅	業務執行・常務理事、事務局長	
太田諭哉	監事	日本公認会計士協会東京会渋谷会会長

## 6 Future Designer に関する事項

パートナー企業、特別正会員企業、賛助会員が提案する事業案件について、多様な視点から事業化の方向性を決める特別アドバイザーメンバーです。メンバーは全 8 名で表 8 のとおりです。

表 8 Future Designer 一覽 (年度末現在)

氏名	所属
大日方 邦子	一般社団法人日本パラリンピアンズ協会会長
齋藤 精一	株式会社アブストラクトエンジン代表取締役
左京 泰明	特定非営利活動法人シブヤ大学代表理事 一般社団法人マネージング・ノンプロフィット代表理事
佐藤 夏生	株式会社 EVERY DAY IS THE DAY クリエーティブディレクター/Co-CEO
夏野 剛	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究所特別招聘教授
野村 恭彦	Slow Innovation 株式会社代表取締役
林 千晶	株式会社ロフトワーク共同創業者 取締役会長
若槻 千夏	タレント・デザイナー

FDS の事業進捗の共有とコロナ禍における戦略的視点での事業の方向性等について助言をいただく機会を、2020 年 10 月 2 日及び 2021 年 2 月 19 日に設けました。



## 7 会議に関する事項

実施された社員総会と理事会は表9のとおりでした。

表9 社員総会等一覧

(年度末現在)

種別	日付	場所	出席	議案
社員総会				
第2回	2020年 6月23日	渋谷区美竹 の丘・しぶ やA会議室 及びWEB 会議	理事4名 監事1名 社員3名	第1号議案 第2期事業報告 第2号議案 第2期計算書類承認の件 第3号議案 理事及び監事の選任の件 第4号議案 役員等の職務及び報酬の件
理事会				
第11回	2020年 6月22日	渋谷パルコ 9F渋谷未来 デザイン会 議室及び WEB会議	理事6名 監事1名	第1号議案 2019年度事業報告について 第2号議案 2019年度決算報告について 第3号議案 2020年度事業計画について 第4号議案 2020年度収支予算について 第5号議案 理事・監事候補者の選出について 第6号議案 定時社員総会の招集について
第12回	2020年 6月23日	渋谷区美竹 の丘・しぶ やA会議室 及びWEB 会議	理事4名 監事1名	第1号議案 代表理事の選任について 第2号議案 常務理事、業務執行理事の選定について
第13回	2020年 9月14日	渋谷パルコ 9F渋谷未来 デザイン会 議室及び WEB会議	理事5名	※報告事項（事業進捗、会員等申込）のみ
第14回	2020年 12月16日	渋谷パルコ 9F渋谷未来 デザイン会 議室及び WEB会議	理事6名	第1号議案 会員規程の変更について
第15回	2021年 3月18日	渋谷パルコ 9F渋谷未来 デザイン会 議室及び WEB会議	理事5名 監事1名	第1号議案 経理規程の変更について 第2号議案 決裁規程の変更について 第3号議案 2021年度事業計画書について 第4号議案 2021年度収支予算書について

また、渋谷区産官学民連携組織評議員会は表 10 のとおり開催されました。

表 10 渋谷区産官学民連携組織評議員会 (年度末現在)

日付	場所	出席評議員	所属	議案
2020 年 7 月 29 日	渋谷区役所 8 階 813-1・2 会議室	高橋裕子 (座長) 針本正行 小林三雄 松本賢司	津田塾大学学長 國學院大學学長 渋谷区町会連合会会長 渋谷区経営企画部長	議題 1 令和元年度事業概要と 収支 議題 2 令和 2 年度事業概要